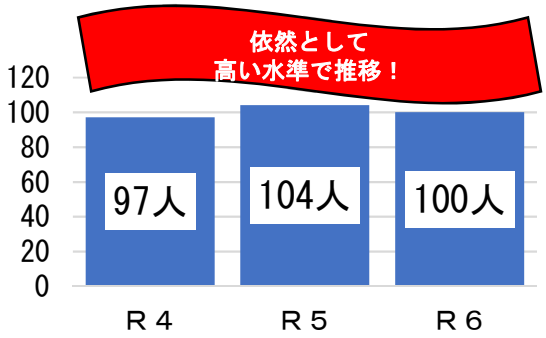
保護者の皆様へ

子供をネット犯罪から守るために（スマートフォン・ＳＮＳの安全な利用）

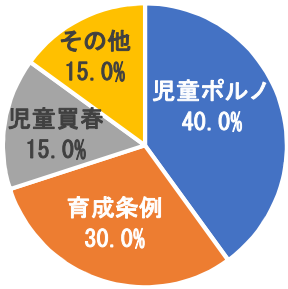
北海道警察

毎年、多くの子供たちがＳＮＳの利用に起因して福祉犯の被害に遭っています

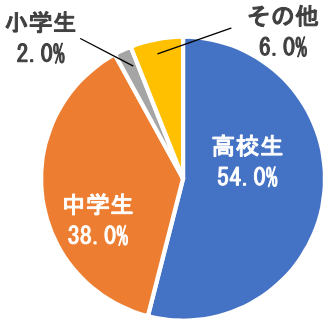
【ＳＮＳの利用に起因する福祉犯被害少年の人数】



【罪種別割合（令和６年）】



【学職別割合（令和６年）】



「福祉犯」とは、児童買春や児童ポルノなど、少年の福祉を害する犯罪をいいます。

ケース１　同性同士だと思って写真をやりとりしたら…

下着姿の写真を送ったら、実は同性ではなく、送った写真をばらまくと脅迫されてしまった。

ケース２　「家出したい」と書き込んだら親切な人が現れて…

ＳＮＳで声をかけてくれて、その人の家に行ったら、監禁されて性被害に遭ってしまった。

スマートフォン・ＳＮＳを安全に利用するために

◇「フィルタリングの設定」を！

◇「ペアレンタルコントロールの活用」を！

多くの被害を受けた子供が被害時にフィルタリングを利用していません。
利用時間の設定やアプリごとに許可または制限もできます。

◇「家庭のルールづくり」を！

「利用時間を守る」「寝室に持ち込まない」など家族で話し合って決めましょう。
「困ったときに家族に相談する」という内容を入れることも大切です。

動画で確認！

「フィルタリングの設定」と「家庭のルールづくり」などについて説明した動画を北海道警察のＹｏｕＴｕｂｅ公式チャンネルで公開しています。